



## 据付説明書（別紙）

## 安全のために必ず守ること

- ご使用前に、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ据付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 <b>警告</b>	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
 <b>注意</b>	誤った取扱いをしたときに、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。

- お読みになったあとは、据付説明書とともに、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。  
 お使いになる方は、据付説明書とともに、いつでも見られる所に保管し、移設・修理の時は工事をされる方に、又お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しください。

### 警告

据付けは、販売店または専門業者に依頼してください。  
 ご自分で据付工事をされ不備があると、感電、火災等の原因になります。

据付工事は、据付説明書に従って確実にこなしてください。  
 据付けに不備があると、感電、火災等の原因になります。

据付けは、重量に十分に耐える所に確実にこなしてください。  
 強度が不足している場合は、コントローラの落下により、けがの原因になります。

電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」及び据付説明書に従って施工してください。  
 電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。

配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。  
 接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。

コントローラを移動再設置する場合は、販売店又は専門業者にご相談ください。  
 据付けに不備があると感電、火災等の原因になります。

改修は絶対にしないでください。また、修理は、お買上げの販売店にご相談ください。  
 修理に不備があると感電、火災等の原因になります。

## 据付けをする前に

### 注意

可燃性ガスの漏れるおそれがある場所への設置は行わないでください。  
 万一ガスが漏れてコントローラの周囲にたまると、発火の原因になることがあります。

本機を据付ける付近の温度が40℃以上、0℃以下になる場所、または直射日光のあたる場所には据付けしないでください。  
 製品の変形、故障の原因となります。

特殊環境には、使用しないでください。  
 油(機械油を含む)、蒸気、硫化ガスなどの多い場所で使用しますと性能を著しく低下させたり、部品が破損したりする場合があります。

浴室、厨房など大量の湯煙が発生するところには据付けしないでください。  
 壁が結露するような場所は避けてください。  
 故障の原因となります。

病院、通信事業所などに据付けされる場合は、ノイズに対する備えを充分に行なって施工してください。  
 インバータ機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器の影響によるコントローラの誤動作や故障の原因になったり、コントローラ側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え人体の医療行為を防げたり、映像放送の乱れや雑音などの弊害の原因になることがあります。

## 据付け(移設)・電気工事をする前に



アース端子がある製品はアースを行なってください。  
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります。

配線は張力がかからないように配線工事をしてください。  
断線したり、発熱・火災の原因になります。

ヒューズがある製品は正しい容量のヒューズ以外は使用しないでください。  
大きな容量のヒューズや針金・銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。

製品の運搬は充分注意して行なってください。  
20kg以上の製品は原則として2人以上で行なってください。

霧、水、ゴミ、虫等の侵入防止のため、配線引込み口をパテで確実にシールしてください。

コントローラを水洗いしないでください。  
感電の原因になることがあります。

酸性・アルカリ性の溶液、特殊なスプレー等頻繁に使用する  
ところへの据付けは避けてください。  
製品の変形、故障の原因になります。

配線は、電流容量、規格品の配線にて工事をしてください。  
漏電や発熱・火災の原因になります。

据付けの際、基板を手や工具などで触ったり、ほこりを付着  
させないでください。  
故障の原因となります。

端子台カバーや絶縁シートを外さないでください。  
火災、感電の原因となります。

## 試運転をする前に



パネルやガードを外した状態で運転をしないでください。  
機器の充電部に触れると、やけどや感電によるけがの原因になります。

濡れた手でスイッチを操作しないでください。  
感電の原因になることがあります。

スイッチを先のとがった物で押さないでください。  
故障の原因となる場合があります。